

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不適合事象が対象になります。

平成18年7月28日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：1件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	2号機屋外において、協力企業作業員が土留め用鋼板の連結ボルトの締め付け作業中、誤って当該作業員が工具で眼球を殴打。医師により、「左眼・眼球破裂」と診断された。今後、原因を調査し対応検討。	A	7月27日公表済 (PDF59KB)

その他：7件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（B）温度記録計において、打点13（高圧蒸気塞止弁メタル温度）に指示不良（オーバースケール）が認められたため、当該温度計を点検・校正	D	
2	2号機	廃棄物処理建屋の操作室空調用パッケージエアコンにおいて、ドレン配管に詰まりが認められたため、当該配管を点検・清掃	D	
3	3号機	アラップ建屋内換気空調系給気ファン（A）の点検時、給気ファン（B）より異音が発生したため、内部の確認を行おうとした際、着用していたヘルメットが外れ、ダクト内に吸い込まれたことから、ヘルメットを回収及び注意を喚起	D	
4	3号機	中央制御室プラントデータ（OD）タイパにおいて、故障表示が発生したため、当該タイパを点検・修理	D	
5	3号機	原子炉圧力容器水素注入装置大流量調節弁において、シートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	D	
6	4号機	タービン建屋北側外気処理装置加熱蒸気供給ラインドレトラップの点検時、フロートにへこみが認められたため、フロートを交換	D	
7	その他	水処理設備排水処理装置高速ろ過器において、詰まりが認められたため、当該ろ過器を点検・清掃	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	・ 計画外の原子炉停止 ・ 発電所外への放射性物質の漏えい ・ 非常用炉心冷却系の作動 ・ 火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	・ 安全上重要な機器等の軽度な故障（技術基準に適合する場合） ・ 管理区域内の放射性物質の軽度な漏えい ・ 原子炉等への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する	・ 計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・ 原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・ 主要パラメータの緩やかな変化 ・ 人の負傷または病気の発生 など
その他	上記以外の不適合事象	・ 日常小修理 など

＜原子力発電所における不適合事象の是正管理＞

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講ずることとしております。

* 「不適合の定義」（JEA64101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A_s : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 保安規定に関わる不適合事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

＜注 意＞

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで